

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

免疫系に作用する分子標的薬による皮膚障害の多施設共同観察研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院皮膚科

【研究責任者】 藤山 幹子（皮膚科 准教授）

【研究代表者】 相原 道子（横浜市立大学医学部附属病院皮膚科 教授）

【研究の目的】

過去に免疫に作用する分子標的薬の治療により皮膚障害を生じた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、研究を行うことといたしました。この研究は、薬剤による副作用の発症を減少させることを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2016年4月から2017年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち免疫に作用する分子標的薬*の治療により皮膚障害を生じて皮膚科を受診された患者さん

*：インフリキシマブ、トシリズマブ、ウステキヌマブ、オマリズマブ、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、イピリムマブ等

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、皮膚病理組織結果、画像検査データ、治療状況 等

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-Rに保存した電子ファイルを郵送することによって横浜市立大学附属病院・施設に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

横浜市立大学附属病院 皮膚科 相原 道子

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院皮膚科 藤山 幹子

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5350 (平日 9:00-17:00)